

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月29日	記入者		連絡先	3175	
平成18年度部名	環境保全部	課名	みどり対策課	課長名	隅河内 司	
平成19年度部名	環境保全部	課名	水みどり環境課	課長名	隅河内 司	
事務事業名	ヒートアイランド対策緑化啓発事業					
予算上の事務事業名	ヒートアイランド対策緑化啓発事業					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	22320	
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして					
政策名	第2章 水やみどりの保全と創造に努めます					
基本施策名	第3節 みどりの保全と創造					
施策名	第2施策 身近なみどりの創造					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	ヒートアイランド対策大綱(内閣府策定)、さがみはらみどりの基本計画					
3 個別計画の概要				概要		
計画名	さがみはら・みどりの基本計画			都市気候の緩和 ヒートアイランド現象の緩和対策として有効とされる市街地緑化や緑地保全に関する市民意識の醸成を図る		
計画年次	18	年度～	20	年度		
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント			5 事業開始年度	平成18年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
ヒートアイランド現象の緩和策として市街地緑化を進めるため、公共施設緑化の推進や民有地緑化モデル事業を行い、市民の緑化意識の醸成を図る。				公共施設 民有地		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
市街地の緑化を推進するため、飛行機による熱画像データ及び航空写真をもとにモデル地区を選定し、説明会を実施した。また、モデル地区住民の緑化意識啓発のための提示データとするため、市民アンケートを行った。						
モデル事業地区説明会 : 相生3丁目(H19.2)						
飛行機による熱画像撮影 : 幅800m 延長20km(H18.8)						
市民アンケート : 市政モニターを対象に緑化意識調査実施 (H18.9)						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	生垣・屋上緑化助成制度:みどりの協会					
8 事業費の推移	[単位:千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	1,754	8,272	2,500	
一般財源	0	0	1,754	8,272	2,500	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	1,971	1,971	1,971	
事業コスト合計	0	0	3,725	10,243	4,471	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	ヒートアイランド対策モデル事業			対象名称 と単位	モデル事業参加家屋数 (戸)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	3,725	5,514	4,471	
対象数	0	0	0	11	20	
単位あたり経費(円)				501,273	223,550	
前年度比				0.45		

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	各戸の敷地緑化率（％）	指標式と指標の説明	緑地面積÷敷地面積×100 モデル事業参加家屋の敷地緑化率を指標とする。		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	0.0		
目標	0.0	0.0	0.0	3.0	5.0
目標達成度（％）					
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	モデル地区緑化率（％）	指標式と指標の説明	モデル地区緑化面積÷モデル地区面積×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	0.0		
目標	0.0	0.0	0.0	3.0	5.0
目標達成度（％）					
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		市街地の緑化啓発などの取り組みの効果、課題、また、それに対する有効な方策を検討するため、モデル事業として3年間の予定で（20年度まで）実施している。平成19年度も継続して実施する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
平成19年度は、市民協働でモデル地区での地表面温度の地上調査、ワークショップ、園芸教室や生垣緑化など緑化手法の講習などの実施を予定しているが、単に事業を実施するだけでなく、その課題や効果を検証するという視点を常にもちながら事業に取り組む意識が必要である。			モデル地区住民との一層の連携が必要である。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			